

保存用

嘉島町洪水ハザードマップ

計画規模【I】 (50年～150年に一度程度の大雨による 堤防決壊等の場合)

令和3年2月作成、令和6年10月一部改訂

洪水ハザードマップについて

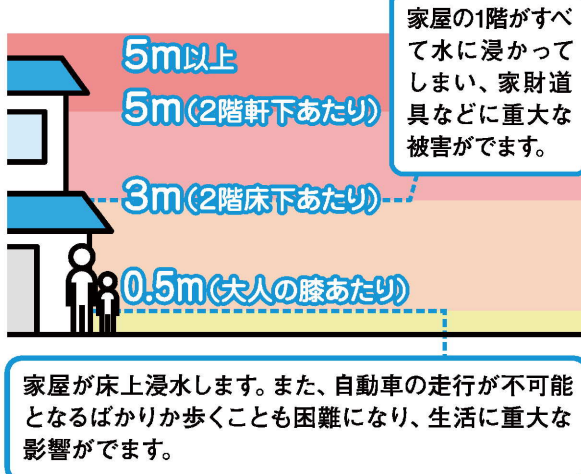
① ハザードマップの使い方

- ① 自宅周辺の危険区域(洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域など)を確認
- ② 避難場所の位置、自宅から避難場所へ向かう安全な経路の検討
- ③ 避難経路中の危険箇所や目印となる場所を実際に歩いて確認

洪水浸水想定区域

計画規模(50年～150年に一度程度)の大雨に伴う洪水によって河川が氾濫した場合の浸水範囲と深さを示したものです。

対象となる河川	想定的前提となる降雨計画規模【I】	作成主体と作成年月
緑川	緑川流域の12時間総雨量279mm(年超過確率1/150)	国土交通省熊本河川国庫事務所 平成29年(2017年)5月
加勢川 (国管理区間)	木山川流域の時間雨量86mm(年超過確率1/50)	熊本県土木部河川課 令和3年(2021年)6月
木山川	矢形川流域の時間雨量80mm(年超過確率1/50)	
矢形川		



土砂災害警戒区域・特別警戒区域

熊本県が令和6年8月現在で告示している土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。なお、熊本県が指定する土砂災害警戒区域等の最新情報は、「土砂災害情報マップ」で確認できます。QRコードまたは「熊本県 土砂災害警戒区域」で検索してください。

いざというときの連絡先

消防(火事・救急)……119 警察(事件・事故)……110

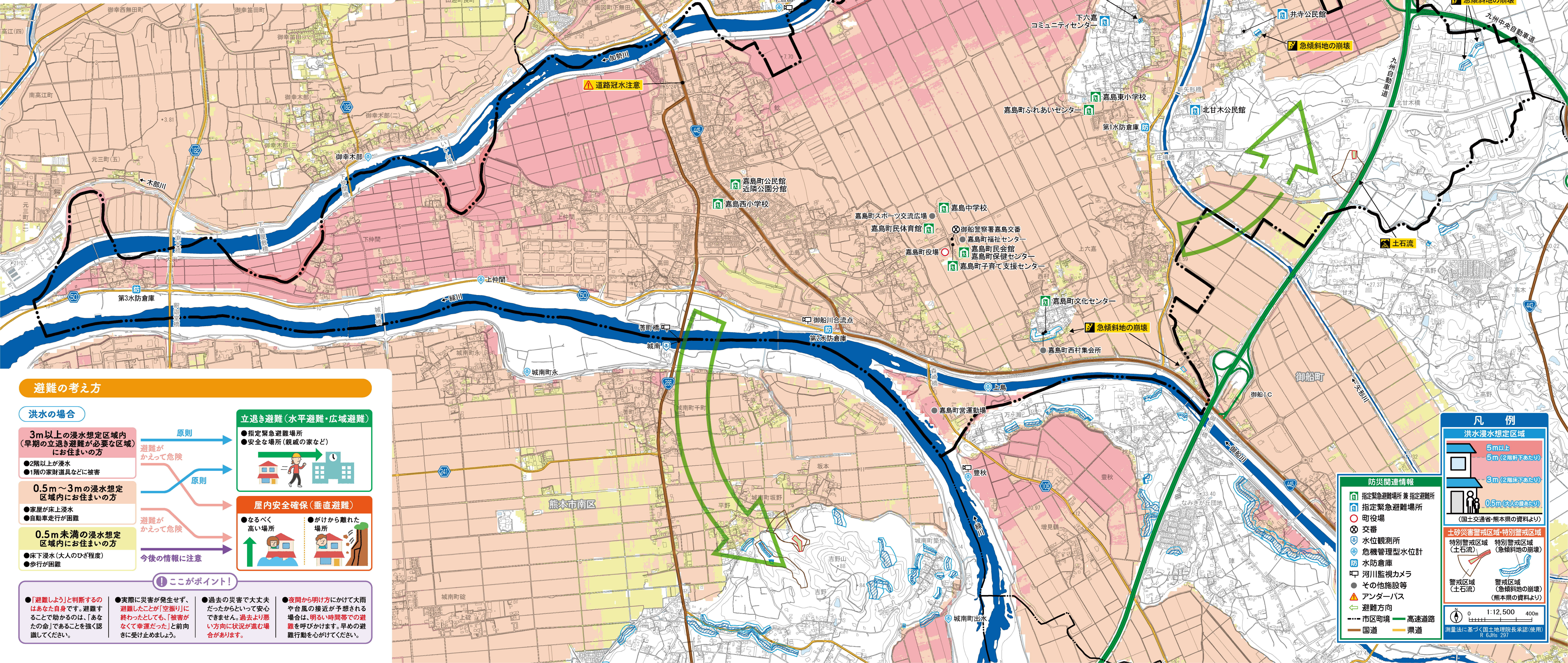
嘉島町役場(代表)	096-237-1111	熊本地方気象台	096-356-8080
嘉島町役場(建設課)	096-237-2619	九州電力送配電(株)	0120-426-306
嘉島町役場(総務課)	096-237-1112	熊本東配電事業所(停電情報)	
上益城消防署	096-282-1955	NTT(電話サービスの故障など)	113または0120-444-113
御船警察署	096-282-1110		
御船警察署 嘉島交番	096-237-0044		

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

- 指定緊急避難場所 災害から命を守ることを最優先として緊急に災害の危険から逃れるための場所。
- 指定避難所 災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする場所。(指定緊急避難場所を兼ねます)

名称	住所	連絡先(096-)	対応災害種別
			洪水 土砂災害 地震
● 嘉島町民体育館	上島926	237-2005	△(2階以上) — ○
● 嘉島町民会館	上島545	237-0058	△(2階以上) — ○
● 嘉島町保健センター	上島545	237-2300	△(初動対応時のみ) ○ ○
● 嘉島町子育て支援センター	上島551	237-5559	△(2階以上) — ○
● 嘉島中学校	上島887	237-0014	△(2階以上) — ○
● 嘉島西小学校	上島1919-2	237-0013	△(2階以上) — ○
● 嘉島東小学校	上六嘉2063	237-0002	△(2階以上) — ○
● 嘉島町ふれあいセンター	上六嘉2063	237-2641	× — ○
● 嘉島町文化センター	上六嘉917	237-0464	○ ○ ○
● 嘉島町公民館近隣公園分館	鯉2820	237-0058	× — ○
● 下六嘉コミュニティセンター	下六嘉3287	237-1112	○ — ○
● 井寺公民館	井寺2889-1	237-1112	○ — ○
● 北甘木公民館	北甘木1967-2	237-1112	○ — ○

※状況に応じて、上記避難所の中から選定し、開設します。
※緊急時に上記の避難場所まで行くのが難しいときは、洪水時であれば出来るだけ高い場所等、地震時であれば近くの公園等に速やかに避難し、命を守る行動を取りましょう。



避難の考え方

洪水の場合

3m以上の浸水想定区域内(早期の立退き避難が必要な区域)にお住まいの方

- 2階以上が浸水
- 1階の家財道具などに被害

0.5m～3mの浸水想定区域内にお住まいの方

- 家屋が床上浸水
- 自動車走行が困難

0.5m未満の浸水想定区域内にお住まいの方

- 床上浸水(大人のひざ程度)
- 歩行が困難

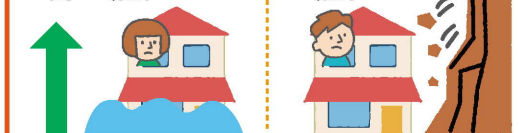
立退き避難(水平避難・広域避難)

- 指定緊急避難場所
- 安全な場所(親戚の家など)



屋内安全確保(垂直避難)

- なるべく高い場所
- がけから離れた場所



① ここがポイント!

- 「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、あなた自身の命です。避難することを強く認識してください。
- 実際に災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。
- 過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。
- 夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近が予想される場合は、**明るい時間帯での避難**を呼びかけます。早めの避難行動を心がけてください。

凡 例

洪水浸水想定区域

5m以上
5m(2階軒下あたり)
3m(2階床下あたり)

(国土交通省・熊本県の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域(土石流)
警戒区域(急傾斜地の崩壊)

警戒区域(土石流)
警戒区域(急傾斜地の崩壊)

(熊本県の資料より)

0 1:12,500 400m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用) 1:64,297

- 指定緊急避難場所 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 町役場
- 交番
- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 水防倉庫
- 河川監視カメラ
- その他施設等
- アンダーパス
- 避難方向
- 市区町界
- 高速道路
- 国道
- 県道